

令和7年度

事業報告  
決算報告

赤十字は、動いてる!

with You

想いの力を、救うかに。

— 目 次 —

令和 7 年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	.....	2
2	赤十字講習の充実	.....	9
3	青少年赤十字の育成	.....	12
4	国際活動の推進	.....	13
5	救護看護師の養成	.....	15
6	血液事業の推進	.....	16
7	赤十字ボランティアの育成	.....	17
8	効果的な広報活動の展開	.....	27
9	活動資金の募集及び表彰制度	.....	29
10	奈良県支部有功会	.....	31

令和 7 年度 一般会計決算報告

1	令和 7 年度 一般会計決算報告	.....	32
2	令和 7 年度 会費収入	.....	33

参考資料

1	令和 7 年度 一般会費及び法人会費収納実績表・・・	34
2	令和 7 年度 火災・水害等による救援物資配布・ 弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況・・・	35
3	令和 7 年度 市町村別講習一覧	..... 36

# 令和 7 年度 事業報告

## I 災害救護体制の強化 -災害からいのちを守る-

昨年は各地で地震や大雨、火災など多くの災害が発生しました。近年、風水害は激甚化、頻発化しており、大規模地震による災害等も発生しており、近い将来には、南海トラフ地震の発生が危惧されています。

このため、今後想定される大規模地震や昨今多発する気象災害に備え、関係機関とも連携して迅速・的確な救護活動ができるよう、救護班の編成と、訓練や研修の実施、救護資機材の整備を重点的に行い、救護体制の充実強化に取り組みました。また、義援金の受付など被災者に寄り添った活動にも取り組みました。

### (1) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名称	班数	備考(覚書締結日)
奈良県総合医療センター	2班	平成 26 年 4 月 1 日 覚書締結 (地方独立行政法人 奈良県立病院機構)
奈良県西和医療センター	2班	
南奈良総合医療センター	1 班	平成 28 年 4 月 20 日 覚書締結
市立奈良病院	1 班	平成 26 年 4 月 1 日 覚書締結
大和高田市立病院	1 班	平成 26 年 9 月 1 日 覚書締結
奈良県立医科大学附属病院	1 班	平成 28 年 11 月 1 日 覚書締結
合計	8 班	

※1 班の体制: 医師 1 名・看護師 3 名・薬剤師 1 名・主事 2 名 計 7 名

### (2) 救護訓練

大災害に備え、各種救護訓練に参加しました。

主催	実施日	訓練名称	会場	支部参加者 (参加総数)
赤十字 奈良県支部	6 月 7 日	第 4 ブロック(近畿) 合同災害救護訓練	高槻赤十字病院 他	25 名 (457 名)
行政 奈良県	10 月 26 日	近畿府県合同 災害救護訓練	三宅町体育館 他	17 名 (2,000 名)



▲第 4 ブロック(近畿)合同災害救護訓練  
～避難所アセスメント～



～防災ボランティアによる物資搬送～



▲近畿府県合同災害救護訓練  
～避難所での巡回診療～

### (3) 日赤災害医療コーディネーター及びスタッフの登録

県内の災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

【医療コーディネーター・スタッフ一覧】

	南奈良総合医療センター	奈良県立医科大学附属病院	北和在宅救急クリニック	奈良県総合医療センター	奈良県西和医療センター
コーディネーター (医師)		福島 英賢 浅井 英樹	關 匡彦	佐藤 俊	藤本 源
スタッフ (看護師)	高山 良光 福塚 一代	南田 哲平		大川 絢	村田 勝吾
スタッフ (薬剤師)	藤井 瑞基	松井 俊典 岡田 和也		西島 正人	井上 晃宏
スタッフ (主事)		植田 真弘			上村 義昌

※医療コーディネーターチームは、医師・看護師・薬剤師・主事（事務職員等）で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。

※支部職員1名が主事として登録しています。

### (4) 救護体制強化のための研修

災害救護に必要となる最新の知識と技術の向上を図るため、奈良県支部と覚書を結んでいる医療救護班の要員に対し、本社・ブロック主催の研修会への参加と支部主催の研修会を実施しました。

また、災害時に支部職員が災害対策本部をスムーズかつ効果的に運営するため、災害対策本部要員研修や救護資機材習熟研修に取り組み、救護班要員の知識や技術の習得に努めました。

月日	研修名称		主催	参加人数
	内容			
5	10	支部救護班基礎研修会 ・赤十字の災害救護活動 ・災害医療体系的アプローチ ・避難所アセスメント	奈良県支部	34名
8	23~ 24	第4ブロック救護班研修会 ・日本赤十字社の救護活動及び体制 ・広域災害・遠隔地派遣 ・水害時の支援と受援	第4ブロック 支部	5名 (奈良県西和医療センター5名)
	30~ 31	日赤災害医療コーディネーター研修会 ・日赤災害医療コーディネーターにおける各段階での役割 ・本部運営(情報管理、課題解決と計画策定) ・支部での医療コーディネーター活動 ・平時における役割と準備	本社	3名 (奈良県総合医療センター3名)
9	29	被災者支援コーディネーター育成研修会 基礎編 ・被災者支援コーディネーターについて ・災害シミュレーション	奈良防災 プラットフォーム 連絡会	基礎編:2名 (無線・救護奉仕団1名 職員1名) フォローアップ編:1名 (職員1名)
10	8	フォローアップ編 ・情報共有会議シミュレーション ・理想とする被災者支援と平時の取り組み		

月日	研修名称		主催	参加人数	
	内容				
10	23	救護資機材習熟研修	奈良県支部	6名 (支部職員6名)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアテント設営研修</li> <li>・トラックテールゲートリフターの操作確認</li> <li>・緊急車両サイレンの取扱い</li> </ul>			
12	4~5	原子力災害時の救護研修	第4ブロック支部	12名 (奈良県総合医療センター6名 奈良県西和医療センター1名 市立奈良病院1名 大和高田市立病院2名 血液センター職員1名支部職員1名)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力災害時の対応</li> <li>・放射線測定の使用方法</li> <li>・原子力災害時のリスクについて</li> <li>・原子力災害時における被災者とのコミュニケーション</li> </ul>			
	12	大阪府支部災害対策本部訓練視察	大阪府支部	4名 (支部職員4名)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部訓練視察</li> </ul>			
R8 2	7	災害時における多様な主体間による連携を進めるならフォーラム	奈良防災プラットフォーム連絡会	1名 (支部職員1名)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援についての全国的な動きと奈良県で想定される被災状況</li> <li>・県の取り組み</li> <li>・基調講演「被災地で私たちができる災害支援」</li> </ul>			
		支部こころのケア研修会			奈良県支部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時のストレス反応</li> <li>・被災者へのこころのケア</li> <li>・こころのケア活動の流れと実際</li> <li>・セルフケア</li> </ul>					
	25	災害救援車(トラック)走行訓練	奈良県支部	1名 (支部職員1名)	
3	1	こころのケア指導者フォローアップ研修会(WEB)	本社	2名 (支部職員2名)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころのケア指導者の活動</li> <li>・被災地支部の活動</li> <li>・災害対応で得られた課題と今後に向けて</li> </ul>			
	15	防災スペシャリスト養成有明の丘研修会	内閣府	1名 (支部職員1名)	
		災害対策本部要員研修(事前学習eラーニング)	奈良県支部	9名 (支部職員9名)	
通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部の体制と機能</li> <li>・医療救護活動</li> <li>・こころのケア活動</li> <li>・義援金の受付と配分</li> <li>・救援物資の配分</li> </ul>			



▲支部救護班基礎研修会



▲救護資機材習熟研修



▲支部こころのケア研修会

(5) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備を行いました。

【令和7年度に新たに整備した主なもの】

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
災害救援車	災害通信指揮車 三菱デリカ	1台	医療資機材携帯用 鞆	1セット4パック	1セット
移動炊飯器 (地区分区)	ガス仕様(24基) 灯油仕様(2基)	26基	救護班要員携行 バッグ	リュック	20個
移動炊飯器 (支部)	LPG専用U型	2基	ローラーコンベア	ブリッジコンベヤ	4台
LEDバルーン投光器	ハタヤリミテッド	1基	災害用タブレットパ ソコン	NEC LAVIE	8台



▲災害救援車(災害通信指揮車)



▲移動炊飯器(地区分区)



▲医療資機材携帯用鞆

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】※( )の数字は令和7年度に整備したもの

品名		数量	品名	数量	
救護班 装備品	医療資機材携行用鞆(1セット4バック)	7(1)	救護所 資機材	大型フレームテント	1
	救護班要員携行バック	50(20)		エアertent(大型:ハイブリット式)	2
	大型救急箱	5		エアertent(小)	1
	パルスオキシメーター	9		組立式テント	6
	電子体温計(非接触体温計含む)	23		ワンタッチテント(大3・小4)	7
	ターニケット(止血帯)	50		プライベートテント	1
	自動体外式除細動器(AED)	3		簡易トイレ(ラップポン)	11
救護班要員 装備品	救護服:上下	210		簡易トイレ用ワンタッチテント	12
	ヘルメット	30		自家発電機(ガソリンタイプ)	6
	救護服:雨衣	30		蓄電池(大1・小2)	3
	救護服:防寒衣	30		投光器	6(1)
	救護服:Tシャツ	103		誘導灯	5
	防護メガネ	20		冷暖房機器	6
	救護員手袋	80		冷暖房機器 (冷暖房器:2、暖房器:1、冷房器:3)	6
	LEDヘッドライト	10		診察台	8
	懐中電灯	10		折畳式寝台	80
	ペンライト(ホルダー付)	30		簡易ベッド	6
	寝袋	50		傷病者用毛布	70
	万能ハサミ	20		スクープストレッチャー	3
	ホイッスル	50		担架	8
非常食(本部・救護班用)	アルファ米	500		担架架台	6
	ドライスープ	200		組立式点滴架台	1
	にゅうめん	100		電動吸引機	1
	惣菜(5種)	250		LEDランタン	9
	携帯おにぎり	250		拡声器	3
	水(500ml)	960		リヤカー(大・小)	各1
	野菜ジュース	150	レスキューカー	2	
	ようかん(5本入)	20	フォークリフト	1	
資機材 原子力対応	空間線量率測定用サーベイメータ	1	移動炊飯器	8(2)	
	防護服セット	6	通信 機器	業務用無線基地局(150MHz・400MHz)	2
	デジタル個人線量計	14		業務用無線陸上移動局(車載機)(//)	4
支援要員 資材	ボランティアユニフォーム	40		業務用無線陸上移動局(携帯機)(//)	9
	ボランティア反射チョッキ	50		業務用無線現地基地局(可搬型)(//)	2
	ボランティア帽子	50		アマチュア無線局	1
	ボランティアヘルメット	30		室外設置用外部アンテナ(衛星携帯電話用)	3
	防寒衣	59		デジタル通信システム (D-STARレピーター)	2
	雨衣(白色・黄色)	50		特定小電力トランシーバー	10
車両 災害救護	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1(1)		携帯電話	1
	救急車	1		データ通信端末	1
	災害救援車	5		デジタルカメラ	4
	救護資機材運搬トラック	1		災害用PC・タブレット	11(8)
教材 救護員	AEDトレーナー	26		災害用テレビモニター	1
	蘇生法教育人体モデル(全身)	14		衛星携帯電話	3
	蘇生法教育人体モデル(半身4体入)	7			
	蘇生法教育人体モデル(乳児4体入)	4			

【地区区分(市町村)】※( )の数字は令和7年度に整備したものの

品名	数量	品名	数量
災害救援車	56	ワンタッチテント(大)	24
移動炊飯器	78(26)	自動体外式除細動器(AED)	30
発電機:ガソリンタイプ 1600W	22	組立式トイレ(車いす対応)	19
発電機:ガソリンタイプ 900W	3	蓄電池(2kw・太陽光パネル付)	27
発電機:プロパンタイプ 850W	11	防災倉庫:2.26 坪	9
LED 投光機:スタンドタイプ	36	防災倉庫:1.99 坪	1

## ② 救援物資の備蓄、配付状況

○備蓄状況(支部・地区区分において備蓄)

毛布	緊急セット	安眠セット	布団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
2,807 枚	1,306 セット	1,080 セット	322 組	1,070 枚	709 枚	1,865 枚

○救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テント	A E D
件数	4 件	-	6 件

○火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	20 世帯	毛布	緊急セット	布団	バスタオル	安眠セット	ブルーシート	タオルケット
人数	54 人	64 枚	19 セット	46 組	49 枚	0 セット	12 枚	11 枚

【弔慰金の支給】

人数	金額
6 人	120,000 円



▲毛布



▲安眠セット



▲緊急セット

## (6) 災害時物資支援協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは十分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



▲(株)八百彦商店との物資支援協定 (H26.2.11 締結)



▲一般社団法人奈良県LPガス協会との物資支援協定(H29.1.23 締結)

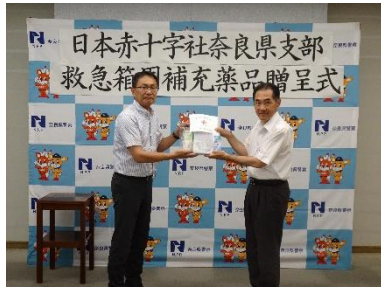


▲板倉石油(株)との物資支援協定 (H29.10.25 締結)

(7) 救急箱の整備

昭和 37 年から県民の方々や観光客等がけがをされた際に、交番や駐在所においても簡易な応急手当ができるように救急箱の設置及び薬品の更新を隔年で行っています。

令和 7 年度は 142 カ所の県内交番及び駐在所に救急箱薬品を贈呈しました。



▲贈呈式



▲救急箱薬品

(8) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また、同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【令和 7 年度受付実績】

(単位:円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	これまでの累計
令和6年能登半島地震災害義援金	275	30,136,859	令和9年3月31日	176,836,841
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	42	2,824,770	令和9年3月31日	5,651,772
令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	18	122,853	令和7年12月26日	
令和7年台風第8号に伴う災害義援金	8	234,741	令和7年12月26日	
令和7年8月6日からの大雨災害義援金	11	97,379	令和8年3月31日	
令和7年台風第12号災害義援金	10	80,585	令和7年12月26日	
令和7年台風第15号災害静岡県義援金	11	67,003	令和7年12月8日	
令和7年大船渡市赤崎町森林火災義援金	28	2,328,288	令和7年6月30日	220,683
令和7年台風第22号及び第23号災害義援金	6	36,307	令和8年1月30日	
令和7年青森県東方沖地震義援金	7	95,583	令和8年1月30日	
令和7年11月18日天分市佐賀関の天規模火災義援金	21	604,782	令和8年3月31日	
合計	437	36,629,150		182,709,296



▲奈良学園中学校・高等学校  
～令和 6 年能登半島地震災害義援金～



▲奈良学園中学校・高等学校  
～令和7年トカラ列島近海地震災害義援金～



▲添上高等学校  
～令和 6 年能登半島地震災害義援金～

## 2 赤十字講習の充実 -いざという時に備えて-

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。令和7年度は、県内各地で303回開催し、延べ8,705の方に受講いただきました。

### (1) 地区分区と共催による地域での講習会

県内全体での講習普及を目的に、地区分区と共催による地域での講習に取り組みました。

月日	講習内容	実施場所	参加人数
7 30	防災セミナー ・家具安全対策ゲーム(KAG) ・身近なものを使った手当	大和高田市総合福祉会館	9人
R8 2 18	防災セミナー ・災害への備え ・大雨台風の避難スイッチ	生き生きプラザ斑鳩	16人
3 24	救急法短期講習 ・一次救命	明日香村健康福祉センター	8人



～斑鳩町分区～



～明日香村分区～

### (2) 【130周年記念事業】「救急法を知ろう」～高校生を対象とした救急法短期講習会 若年層への講習普及として、高校生を対象に救急法短期講習を開催しました。

月日	内容	実施場所	参加人数
7 29	救急法短期講習 献血セミナー 血液センター見学	奈良県赤十字血液センター	18人



▲救急法短期講習



▲血液センター見学

### (3) 金色有功章受章企業を対象とした講習会

金色有功章を受章した企業を対象に無料体験講座を実施しました。

月日	講習内容	実施場所	参加人数
R8 2 7	救急法短期講習 ・一次救命処置	株式会社みやまえ	121名

#### (4) 防災・減災のための講習会

- ① 地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県内各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2時間以上	22回	617人
災害時要配慮者生活支援講習			
避難生活支援講習			
防災セミナー	適宜	58回	1,535人
計		80回	2,152人



▲災害時要配慮者生活支援講習

～毛布ガウン体験～



～非常食づくり～

- ② 防災教育指導者を育成するため、防災教育事業指導者研修会への参加と、支部主催で養成研修を実施しました。

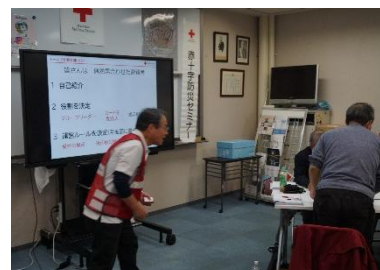
月日	研修名・内容	実施場所/主催	参加対象及び人数
5月30日	第1回防災教育事業主任指導者研修会 ・災害エスノグラフィーの改訂 ・新規カリキュラムの開発について	支部(WEB)/ 本社主催	防災教育事業指導者 支部職員 2人
10月20日 21日	第2回防災教育事業主任指導者研修会 ・防災教育事業の今後の方針共有 ・新規カリキュラムの体験及び指導方法	本社/ 本社主催	防災教育事業指導者 支部職員 2人
11月8日 9日	防災教育事業指導者養成研修会 ・日本赤十字社が実施する防災教育事業について ・防災教育事業指導者について ・災害への備え ・災害エスノグラフィー ・災害図上訓練(DIG)	支部/ 支部主催	ボランティア 支部職員 12人
R8 3月5日	防災教育事業指導者フォローアップ研修会 ・新カリキュラム「大雨・台風の避難スイッチ」完成報告 ・気象庁職員による講話「新たな防災気象情報の解説」	支部(WEB)/ 本社主催	防災教育事業指導者 支部職員 2人



▲赤十字防災啓発プログラム



▲防災教育事業指導者養成研修会



(5) 救急法等の講習会

① 救急法

心肺蘇生やAEDの使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4時間	17回	340人
救急員養成講習	12時間	7回	111人
短期講習	2時間以上	111回	3,587人
指導員養成講習	30時間	-	-
計		135回	4,038人



▲基礎講習

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

② 水上安全法

身近なものを使った応急手当や着衣泳(服を着たまま溺れた場合の対処方法)講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成I講習	14時間	4回	137人
短期講習	2時間以上	28回	1,439人
指導員養成講習(ブロック合同)	30時間	1回	5人
計		33回	1,581人



▲救助員養成I講習

③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などの講習や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	9時間	3回	50人
短期講習	2時間以上	9回	243人
指導員養成講習	30時間	-	-
計		12回	293人



▲支援員養成講習

④ 幼児安全法

乳幼児に対する救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などの講習を実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	10時間	3回	31人
短期講習	2時間以上	63回	1,232人
指導員養成講習	30時間	1回	5人
計		67回	1,268人



▲支援員養成講習

### 3 青少年赤十字の育成 -思いやりを育む-

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

#### (1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園 認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	計
加盟校	30校	77校	23校	1校	10校	1校	142校

#### (2) 青少年赤十字防災教育の推進

青少年の健康と安全を守り、学校や地域、家庭での防災意識の向上を目的に、青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」(小・中・高校生向き)や「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」(幼稚園・保育所向き)の教材を活用した防災セミナーなどを随時開催しました。

【教職員等を対象とした防災教育の開催状況】

月 日	講習内容	場所	参加対象及び人数
5 27・ 29	奈良市教職員研修講座 ・防災教育の基本的な考え方と実習	奈良市教育センター 他	奈良市小学校初任者 43人
8 21	防災セミナー ・災害への備え ・地域防災と避難所運営	奈良県立教育研究所	県内教職員 12人
9 2	奈良市教職員研修講座 ・防災教育の基本的な考え方と実習	奈良市教育センター	奈良市中学校初任者 19人

#### (3) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
奈良市立 飛鳥小学校	飛鳥スマイルキッズ ～よりよい「飛鳥」みんなの笑顔のために～	575人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光客に奈良の良さを伝えるために、オリジナルのパンフレットを作り、配布する。</li> <li>●飛鳥の街をきれいにするためゴミ拾いをし、ポイ捨て禁止ポスターを作成する。</li> <li>●より美しい学校・街・地域となるように環境を整備し、花の苗を植えて育てる。</li> <li>●「感謝の気持ちを伝える会」を開催し、地域のお世話になった方を招待し、感謝の気持ちを伝えるためにお手紙や色紙を届ける。</li> </ul>
大和郡山市立 筒井幼稚園	“ならシェークアウト” と炊き出し訓練	50人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ならシェークアウトや炊き出し訓練に参加し防災意識を高める。</li> <li>●地震が起こったという想定で避難行動をする。その後、日本赤十字社の講師から「防災まちさがしきけん はっけん!」の話を聞く。</li> <li>●年長・年中児は炊き出し訓練を実施する</li> </ul>
下市あきつ学園	地域ボランティア清掃	168名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全校児童生徒の縦割り班で地域(学校周辺)を歩き、ごみを拾いながら清掃活動を行う</li> </ul>



▲飛鳥小学校  
～感謝の気持ちを伝える会～



▲筒井幼稚園  
～炊き出し訓練～



▲下市あきつ学園  
～地域ボランティア清掃～

(4) 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
5/26	奈良県青少年赤十字指導者協議会	支部	令和7年度事業計画 リーダーシップ・トレーニング・センター開催内容検討	5人
5/30 ~ 6/1	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	本社	赤十字と青少年赤十字、青少年赤十字と学校教育 青少年赤十字とリーダーシップ トレーニングセンターの運営について	1人
7	4 全国青少年赤十字指導者協議会・総会	東京都	令和6年度事業報告、令和7年度取り組み 青少年赤十字海外支援事業ルワンダ視察報告 学校教育と青少年赤十字	1人
	27 親子で学ぶぼうさい教室	橿原市	おうちのきけん、高齢者疑似体験、無線機体験 身近なものを使った応急手当	4人
8	6 青少年赤十字研究会	本社	学校教育と青少年赤十字 青少年赤十字の実践と効果 教育現場の課題と青少年赤十字の活用について	2人
	7・8 県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	赤十字について、災害時シミュレーション、 キャンプファイヤー フィールドワーク(車椅子体験、アイマスク体験)	70人
9/15	第4ブロック青少年赤十字指導者研修会	大阪市	大阪・関西万博コモンズEセミナールにて開催 集团生活を通じた学習活動、赤十字パビリオン見学	1人
10/25 ~ 30	青少年赤十字国際交流事業(受け入れ)	県内	県内青少年赤十字加盟校との交流 奈良県赤十字血液センターなど施設見学 地域奉仕団交流会での折り紙体験	
R8 1	21 献血セミナーでの青少年赤十字活動紹介	王寺町	王寺工業高等学校で開催された献血セミナーで青 少年赤十字活動を紹介	2人
	25 親子で学ぶぼうさい教室	橿原市	おうちのきけん、高齢者疑似体験、無線機体験 身近なものを使った応急手当	7人
3	7 奉仕団交流会	支部	各奉仕団の取り組み発表、地域奉仕団による紙芝居 無線・救護奉仕団による無線体験	1人
	22 ~ 26 青少年赤十字スタディ・センター	山梨県	赤十字と青少年赤十字、国際理解 リーダーシップとコミュニケーション、フィールドワーク	2人



▲親子で学ぶぼうさい教室



▲リーダーシップ・トレーニング・センター



▲国際交流事業(受け入れ)

4 国際活動の推進 -世界とつながる-

世界191の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。

(1) 支部の国際活動への参加

- ① バングラデシュ保健医療支援事業に資金協力をしました。



▲避難民の女の子たちと会話する日赤要員



▲診療所の薬剤師と在庫の話をする日赤要員

- ② 日本赤十字社気候変動対応事業の現地調査として支部職員をジブチ共和国へ派遣しました。



▲学校訪問



▲ディギル州市長表敬訪問



▲住民たちとの意見交換

## (2) 海外救援金の受付

【令和7年度受付実績】

(単位:円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
中東人道危機救援金	4	510,202	令和9年3月31日	201,085
バングラデシュ南部避難民救援金	1	11	令和9年3月31日	79,333
ウクライナ人道危機救援金	111	706,686	令和9年3月31日	35,929,376
2025年アフガニスタン地震救援金	4	13,111	令和7年11月28日	
2025年パキスタン洪水救援金	2	10,103	令和7年11月28日	
2025年ミャンマー地震救援金	29	679,857	令和7年6月30日	
イラン及び周辺国人道危機救援金	2	101,000	令和8年5月29日	
無指定海外救援金	1	10,000	-	
合計	154	2,030,970		36,209,794



▲宇陀高等学校  
～ミャンマー地震救援金～



▲奈良クラブ  
～ミャンマー地震救援金～

## (3) NHK海外たすけあいの受付

【令和7年度受付実績】

(単位:円)

受付窓口	件数等	金額	備考
日赤奈良県支部	58	117,253	支部・施設での受付、南都銀行、農協からの振込
NHK奈良放送局	9	150,458	NHK奈良放送局での受付
街頭募金	19カ所	494,443	地域奉仕団、青年奉仕団が県内各地で実施
ゆうちょ銀行	520	6,734,081	県民から本社への振込
合計		7,496,235	



▲五條市赤十字奉仕団  
～A コープハートフル五條～



▲広陵町・上牧町赤十字奉仕団  
～イズミヤ広陵店～



▲青年赤十字奉仕団  
～生駒駅～

#### (4) 赤十字思想の普及・啓発

第4ブロック(近畿)主催の国際人道法セミナーに参加しました。

月日	内容	開催場所/主催	参加人数
R8 1 28	国際人道法入門、国際人道法概論、赤十字標章、有事関連法と日本赤十字社、有事関連法と日本赤十字社	支部(WEB)/第4ブロック支部主催	受講者1人 講師2人

### 5 救護看護師の養成 ー国内外で活躍できる看護師をー

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、京都第二赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。

奈良県支部では、これまでに40名の看護師を養成しています。

(平成22年度まで和歌山、平成23年度から令和2年度まで大阪、令和3年度から京都第二)



▲戴帽式



▲看護体験学習

## 6 血液事業の推進 -献血にご協力を!!-

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

- (1) 愛の血液助け合い運動(7月～8月)、全国学生クリスマス献血キャンペーン(12月)、はたちの献血キャンペーン(1月～2月)、バレンタイン献血(2月)、近畿統一キャンペーン(3月)等を実施しました。
- (2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。
  - ・献血セミナー
  - ・学内献血
  - ・献血まるわかりゼミ
- (3) 献血推進の広報活動を行いました。(新聞広告掲出:県有功会)
  - ・愛の血液助け合い運動
  - ・はたちの献血キャンペーン



▲近畿統一キャンペーン  
(学生献血推進協議会)



▲イベント  
(学生献血推進協議会)



▲若年層献血  
(添上高等学校)

## 7 赤十字ボランティアの育成 -活動を支える-

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただいております。また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

### (1) 地域赤十字奉仕団(団数及び団員数:39 団、2,317 名) 昭和 23 年発足

- ・市町村の地域ごとに結成され、地域単位で活動するために組織された奉仕団です。
- ・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、日帰り研修(ハンセン病療養所の訪問:岡山県)と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。
- ・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンアップキャンペーンへの参加、NHK海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

#### ① 「地域赤十字奉仕団活動支援助成金」事業

地域奉仕団が抱えている高齢化や団員の減少への対策、地域住民の方に奉仕団の存在や活動への理解を深める広報などの活動に対し助成金を交付しました。

対象事業

- ・赤十字思想の普及啓発 ・高齢者及び子どもの見守り ・ふれあいサロン等の交流会、
- ・地域の健康増進活動 ・地域の防災・減災のための講習開催 ・団の広報活動、
- ・新規団員募集のための活動

奉仕団名	事業名	内容
奈良市地区赤十字奉仕団 大宮分団	いきいき歌声サロン大宮	高齢者がひきこもることなく仲間・居場所づくりができる場の提供と歌うこと、音楽に合わせて体を動かすことによる介護予防と健康増進を図ることを目的に開催した。
	ポッチャをやって楽しもう!大宮	障害の有無、年齢に関係なく、レクリエーションとして気軽に楽しめるスポーツ「ポッチャ」を楽しみ、幅広い世代に赤十字活動の普及啓発を行った。
奈良市地区赤十字奉仕団 平城分団	さくら食堂	地域住民、特に一人暮らしの高齢者が参加することで、「地域と触れ合う機会」「ちいきとのつながり」を感じていただく場として開催した。
奈良市地区赤十字奉仕団 左京分団	おきがる食事会	地域の子供から高齢者の方の居場所づくりとして、食事を通して交流を図ることで、安心して安全なまちづくりの一歩となることを目的に開催した。
奈良市地区赤十字奉仕団 精華分団	精華マルシェ	地域住民の居場所づくりとなるような世代を超えた交流の場の提供としてマルシェを開催し、地域住民に赤十字活動の理解を深め、普及啓発を行った。
大和高田市赤十字奉仕団	県外研修及び赤十字 学習会	和歌山市消防局防災学習センターにて、南海トラフ地震の和歌山市の取り組みを学び、奉仕団員の知識を深めた。また、研修で得た学びを市民に周知し防災・減災の意識を高め合うため、赤十字学習会を開催した。
橿原市赤十字奉仕団	かなはし多世代交流食堂	地域の子供とその保護者、高齢者が食を通じて交流を深めるとともに、防災に関する知識等を習得することで、多世代のふれあい、高齢者の生きがいづくりを目的とし、地域の活性化を図った。

奉仕団名	事業名	内容
御所市赤十字奉仕団	防災訓練	御所市の防災交流館において、非常時の設備使用及び避難所の運営者、利用者のサポートを迅速かつ的確に行うことを目的に訓練を実施した。
下市町赤十字奉仕団	健康増進事業	地域の健康続伸を図るために、日頃できる運動やウォーキング方法を学び、町民の健康づくりに役立てることを目的に開催した。



▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団  
～いきいき歌声サロン大宮～



▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団  
～ボッチャをやって楽しもう!大宮～



▲奈良市地区赤十字奉仕団平城分団  
～さくら食堂～



▲奈良市地区赤十字奉仕団左京分団  
～おきがる食事会～



▲奈良市地区赤十字奉仕団精華分団  
～精華マルシェ～



▲大和高田市赤十字奉仕団  
～赤十字学習会～



▲御所市赤十字奉仕団  
～防災訓練～



▲下市町赤十字奉仕団  
～お出かけ健康法～

② 地域奉仕団のリーダーを育成するため、1泊2日のリーダーシップ研修会を開催しました。

月日	内容	実施場所	参加人数
9月8～9日	講義「活動を推進するリーダー」 6つのブースに分かれてグループワーク 講義「赤十字基本原則」 実技「救急法講習」	大和高原ボスコヴィラ	35人



▲各ブースでの話し合い



▲三角巾を使った応急手当



▲参加者全員で集合写真

- ③ 【130周年記念事業】地域奉仕団、特殊奉仕団、青少年赤十字指導者のお互いの「つながり」を深めるため、奉仕団交流会を開催しました。

月日		内容	実施場所	参加人数
R8 3	7	地域奉仕団、無線・救護奉仕団、青年奉仕団の取り組み発表 香芝市奉仕団による紙芝居 無線・救護奉仕団による無線体験	支部	84人 (うち、地域奉仕団 65名)



▲香芝市奉仕団による紙芝居



▲無線・救護奉仕団による無線体験



▲参加者全員で集合写真

- ④ ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県出身者の方との交流を行いました。  
(10月9日:岡山県瀬戸内市)



▲ふれあい交流会



▲納骨堂参拝



▲歴史資料館見学

- ⑤ 講習普及活動、献血協力の呼びかけや、クリーンアップキャンペーンに参加しました。  
(クリーンアップならキャンペーン 10月26日:県内3市町村 延べ19人参加)  
また、独自活動(一日赤十字開催や地域イベントとのコラボなど)に参加し、奉仕団活動の普及に努めました。



▲防災セミナー  
～香芝市赤十字奉仕団～



▲非常食炊き出し訓練  
～三宅町赤十字奉仕団～



▲献血呼びかけ  
～広陵町赤十字奉仕団～

- ⑥ 地域内での「法人会費」や「災害義援金」や「海外救援金」、「NHK海外たすけあい」の募集活動に協力しました。

⑦ モデル奉仕団の指定

令和6年度から令和8年度の3年間、モデル奉仕団として活動しました。

奉仕団名	活動内容
安堵町赤十字奉仕団 (団員:45人)	モデル活動名:災害救護に関する活動 各自治会を対象とした出前防災講習会の開催、サロンでの防災講習会の開催 非常食の炊き出し、防災グッズの配布



▲町内での防災講習



▲非常食の炊き出し



⑦ 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数	
通年	地区委員会	県内地区	令和7年度支部・血液センター事業計画報告	-	
6月30日	奉仕団支部委員会	支部	令和7年度地域奉仕団研修会について	19人	
7月3・4日	奉仕団中央委員会	本社	役員改選 日本赤十字社創立150周年に向けて ボランティア活動の強化にかかる取り組み	1人	
8月7・8日	県青少年赤十字リーダーストップ・トレーニングセンター(奈良市地区赤十字奉仕団)	奈良市	トレセン炊き出し	12人	
9月17日	赤十字フェスタ事前準備(奈良市地区赤十字奉仕団)	支部	配布資料の梱包作業	3人	
10月	18日	親子でアウトドア(奈良市地区赤十字奉仕団)	奈良市	アイラップに炊き込み具材を入れた料理体験	14人
	26日	赤十字フェスタ(大和郡山市赤十字奉仕団)	大和郡山市	記念品引き換え、アンケート受付、救護服試着コーナースタッフ	8人
	29日	地域奉仕団交流会	奈良市	パキスタン青少年赤新月メンバーとの交流 ハートラちゃんマスコット作り	50人
11月22日	赤十字フェスタ(生駒市赤十字奉仕団)	生駒市	啓発活動、救護服試着コーナースタッフ	8人	
2月19日	奉仕団支部委員会	支部	令和7年度事業中間報告 令和8年度事業計画	20人	
3月16~19日	赤十字募金発送作業(奈良市地区赤十字奉仕団)	支部	県内学校へ依頼する赤十字募金資材の分類、梱包作業	延べ17人	



▲奉仕団支部委員会



▲地域奉仕団交流会



▲赤十字フェスタ事前準備  
～奈良市地区赤十字奉仕団～

(2) 安全法指導赤十字奉仕団(団員:88名)昭和52年発足

(救急法指導員72名、水上安全法指導員20名、幼児安全法指導員25名、健康生活支援講習指導員10名)

- ・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の指導員で組織された奉仕団です。
- ・健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習の普及に取り組みました。

① 講習会指導状況

区分		回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習		17回	340人	61人
養成講習	救急法	7回	111人	59人
	水上安全法	4回	137人	62人
	幼児安全法	3回	31人	12人
	健康生活支援講習	1回	8人	2人
短期講習	救急法	103回	3,160人	148人
	水上安全法	28回	1,439人	38人
	幼児安全法	63回	1,232人	72人
	健康生活支援講習	3回	72人	3人
災害時要配慮者生活支援講習		14回	387回	14人
計		243回	6,917回	471人

② 研修会、講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
4 20	総会	支部	令和6年度事業報告、会計報告 令和7年度事業計画(案)、予算(案)等審議	33人
	研修会	支部	石川県能登町での支援活動報告、支援内容の体験	25人
5 11 17.18	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者12人)	6人
	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者8人)	5人
6 8.14. 15.19 22 28.29	水上安全法救助員I養成講習	大和郡山市	水の事故防止、救助、応急手当など(受講者8人)	17人
	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者9人)	6人
	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者10人)	19人
7 15.16 23 27 29	健康生活支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における支援活動、日常生活における介護など(受講者8人)	2人
	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者7人)	2人
	親子で学ぶぼうさい教室	檀原市	身近なものを使った応急手当など(受講者14人)	2人
	救急法を知らう~高校生対象~	大和郡山市	AEDの使用方法など(受講者18人)	1人
8 3 30	役員会	支部	研修会、9月講習会について	10人
	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者14人)	8人

月日	名称	場所	内容	参加人数	
9	6.7	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 14人)	12人
10	11	赤十字フェスタ	大和郡山市	心肺蘇生及びAED、応急手当の体験を指導	5人
	18	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用手法など(受講者 9人)	2人
	26	近畿府県合同防災訓練	三宅町	救護所設営、担架搬送	2人
11	15.16	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者 8人)	4人
	22	赤十字フェスタ	生駒市	心肺蘇生及びAED、応急手当の体験を指導	1人
	30	役員会 研修会	支部	12月講習について 家庭でもできる股関節及び巻き肩、猫背改善の体操	10人 29人
12	7	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用手法など(受講者 16人)	9人
	20.21	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 17人)	15人
R8 1	15	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用手法など(受講者 8人)	2人
	25	親子で学ぼうさい教室	奈良市	身近なものを使った応急手当など(受講者 7人)	1人
2	8	役員会	支部	令和8年度総会、2月講習会について	11人
	11	災害時要配慮者生活支援講習	支部	知って役立つ知識、非常食作り、応急手当(受講者 5人)	1人
	19	奉仕団支部委員会	支部	令和7年度事業中間報告 令和8年度事業計画	1人
3	7	奉仕団交流会	支部	各奉仕団の取り組み発表、地域奉仕団による紙芝居 無線・救護奉仕団による無線体験	1人
	8	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用手法など(受講者 19人)	8人
	14.15	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 19人)	13人
4/13~10/13	大阪・関西万博	夢洲	国際赤十字・赤新月運動月間パビリオン運営スタッフ	14人	



▲総会



▲研修会



▲講習指導

(3) 無線・救護赤十字奉仕団(団員:12名)昭和47年発足

平成25年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

- ・無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。
- ・災害時の活動に備え、通信訓練や救護訓練に取り組みました。

① 活動・研修会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
4/5	第4ブロック連絡協議会	大阪市	令和6年度活動報告、令和7年度活動予定 令和7年度第4ブロック訓練概要	1人
5/20	総会	支部	令和6年度活動報告、会計報告 令和7年度活動計画(案)、予算(案) 役員改選	4人
6/7	第4ブロック合同災害救護訓練	大阪市	物資搬送、通信訓練	3人
7/27	親子で学ぶぼうさい教室	橿原市	無線体験	3人
9/29	被災者支援コーディネーター育成研修	橿原市	被災者支援コーディネーターについて 災害シミュレーション	1人
10/11	赤十字フェスタ	大和郡山市	救急車・災害救援車展示コーナースタッフ、無線体験	4人
11/22	赤十字フェスタ	生駒市	救急車・災害救援車展示コーナースタッフ、無線体験	4人
12/14	奈良マラソン救護支援	奈良市	救護支援	4人
R8 1/25	親子で学ぶぼうさい教室	奈良市	無線体験	4人
3/7	奉仕団交流会	支部	各奉仕団の取り組み発表、地域奉仕団による紙芝居 無線・救護奉仕団による無線体験	5人
4/13~10/13	大阪・関西万博	夢洲	国際赤十字・赤新月運動月間パピリオン運営スタッフ	2人
無線通信訓練	山口県(4/13.5/25)、岐阜県(4/13)、兵庫県(4/20.1/17)、熊本県(4/20)、鹿児島県(5/20、1/11)、 大阪府(6/7、2/15)、北海道(7/19)、栃木県(7/27、8/31)、山梨県(10/29)、和歌山県(11/2)、宮城県(11/9)、 静岡県(11/15)、東京都(11/16)、宮崎県(11/16、12/21)、愛知県(12/21)、茨城県(2/22)、島根県(3/21.22) 山梨県(3/24)			



▲総会



▲救護訓練での無線通信



▲親子ぼうさい教室での無線体験

(4) 看護赤十字奉仕団(団員:44名)昭和48年発足

- ・看護師資格を持つメンバーで組織された奉仕団です。
- ・地域社会に貢献しようと奈良マラソン等、公共性の高い行事等で救護活動を行いました。

① 救護活動回数

区分	回数	派遣人数
臨時救護	41回	69人
団体付添救護	7回	8人
計	48回	77人

② 研修会

月日	名称	場所	内容	参加人数
R8 3	12 研修会	支部	救護活動に役立つ知識と技術の確認 ひなんじょたいけん	12人



▲奈良マラソンでの臨時救護



▲付添救護



▲研修会

(5) 青年赤十字奉仕団(団員:82名)

〔 奈良県青年赤十字奉仕団:5名 昭和60年発足  
近畿大学農学部赤十字奉仕団:72名 平成4年発足  
奈良大学学生赤十字奉仕団:5名 平成24年度発足 〕

- ・勤労青年や大学生で組織された奉仕団です。
- ・赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

① 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数	
4	6.13	救急法救急員養成講習	奈良市	急病・けがの手当、搬送など	6人
5	17	青年奉仕団全国協議会(第1回)	(WEB)	各青年奉仕団からの協議事項 令和7年度活動スローガンの検討	1人
	25	第4ブロック協議会役員会	支部	令和6年度ブロック事業・決算報告、役員改選 令和7年度第4ブロック事業計画(案)・予算(案)	4人
7	27	スマイルキッズまつり	奈良市	運営補助	8人
8	7.8	県青少年赤十字 リーダース・トレーニングセンター	奈良市	トレセン運営スタッフ	3人
	9	救急法基礎講習	奈良市	心肺蘇生、AEDの使用方法など	14人
	10	燈花会サポート活動	奈良市	なら燈花会の点灯準備など	15人
	14	清掃活動	奈良市	奈良公園、春日大社での清掃活動	4人
	24	安堵町ふれあい盆踊り大会	安堵町	安堵町赤十字奉仕団の調理補助	8人

月日	名称	場所	内容	参加人数	
9	13~15 20.21.23	ならクリーン PROJECT2025	奈良市	リユース食器を用いた環境保全活動	21人
	21	第4ブロック合同防災学習	大阪市	防災センター体験、ひなんじょたいけん、 講話「自分が体験した被災後のボランティア活動」	3人
10	11	赤十字フェスタ	大和郡山市	ハートラちゃん、けんけつちゃんとの記念撮影 スタッフ	10人
	12	春日野音楽祭	奈良市	ステージ運営補助	6人
	18	親子でアウトドア	奈良市	工作体験のサポート	3人
11	2.3	救急法基礎講習	奈良市	心肺蘇生、AEDの使用方法など	430人
	8.9	なら奈良まつり	奈良市	運営補助	8人
	15.16	第4ブロックリーダー養成研修会	大和郡山市	赤十字について、YABC セミナー リーダーについて、国際人道法	4人
	22	赤十字フェスタ	生駒市	ハートラちゃん、けんけつちゃんとの記念撮影 スタッフ	12人
	24	災害ボランティア入門セミナー	奈良市	災害ボランティアについて	39人
	30	平城半神話体系	奈良市	防災、救命、赤十字活動に関する展示	2人
12	20	NHK 海外たすけあい街頭募金	生駒市	募金活動	6人
R8 1	10	防災セミナー	奈良市	防災への備えと発災時の対応	25人
		献血セミナー		献血について	
	17	青年奉仕団全国協議会(第2回)	(WEB)	ボランティア活動の活性化 ボランティアの参加促進について 今年度の活動共有と振り返り	1人
2	11	なら瑠璃絵	奈良市	受付・誘導補助、説明・撤去、来場者アンケート依頼	14人
3	7	奉仕団交流会	支部	各奉仕団の取り組み発表、地域奉仕団による紙芝居 無線・救護奉仕団による無線体験	9人
	7.8	全国車いす駅伝競走大会	京都市	移動サポート等	6人
	14	第4ブロック協議会役員会	支部	令和7年度事業報告、決算見込み 令和8年度事業計画(案)、予算(案) 令和8年度ブロック役員選出における担当について	1人



▲第4ブロック協議会役員会



▲第4ブロック合同防災学習



▲海外たすけあい街頭募金

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団(団員:18名)昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更

- ・青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織された奉仕団です。
- ・青少年赤十字指導者やメンバーの活動を側面から支えています。

① 「防災セミナー」や「防災教室」への協力を行いました。

月日	名称	場所	内容	参加人数
4 26	防災セミナー	上牧町	ひなんじょたいけん	1人
5 27.29	防災セミナー	奈良市	防災教育の基本的な考え方と実習	1人
9 2	防災セミナー	奈良市	防災教育の基本的な考え方と実習	1人
R8 2 5	防災教室	御所市	まもるいのちひろめるぼうさい	2人

② 研修会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
5 26	県賛助奉仕団総会	支部	令和6年度事業報告 令和7年度事業計画(案)	12人
7	全国賛助奉仕団総会	本社	令和6年度事業報告、会計報告 役員選任 令和7年度事業計画(案)、予算(案)	1人
	親子で学ぼうさい教室	橿原市	防災クイズ、おうちのきけん	1人
8 7.8	県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	トレセン運営スタッフ	7人
10	赤十字フェスタ	大和郡山市	クラフトペーパー作り	2人
	第4ブロック交流研修会	滋賀県	情報交換、交流会、視察	1人
2 19	奉仕団支部委員会	支部	令和7年度事業中間報告 令和8年度事業計画	3人
3 7	奉仕団交流会	支部	各奉仕団の取り組み発表 地域奉仕団による紙芝居 無線・救護奉仕団による無線体験	6人
4/13~10/13	大阪・関西万博	夢洲	国際赤十字・赤新月運動月間パビリオン運営スタッフ	6人



▲総会



▲トレセン運営スタッフ



▲赤十字フェスタ

(7) 防災ボランティア(個人)(登録人数:22名)平成9年発足

- ・支部に個人で登録し、災害発生時における支部の救護活動を支えています。
- ・救護訓練などに参加しました。
- ・「赤十字 NEWS」発送業務に協力しました。(5月・8・11・2月:延べ14名)

## 8 効果的な広報活動の展開 –活動へのご理解とご参加を–

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

また、令和7年1月に支部創立130周年を迎え、これまで支部の活動を支えていただいたステークホルダー(寄付者、奉仕団、有功会、青少年赤十字指導者など)に感謝の意を伝えるため、記念事業を実施しました。

さらに、令和9年5月に日本赤十字社創立150周年を迎えるに当たり、第一歩として大阪・関西万博に出展された国際赤十字・赤新月運動パビリオンの運営スタッフとして職員及びボランティアを派遣しました。



▲支部創立130周年PRロゴ



▲大阪・関西万博パビリオン運営スタッフ



▲150周年プロジェクトワークショップ

### (1) 支部の広報活動

- ① テレビ放送(運動月間:5月及び随時放送)での広報活動を行いました。(奈良テレビ、吉野テレビ、下市テレビに継続して放送依頼)

【令和7年度テレビ放送回数(無償):令和7年5月1日~令和8年3月31日】

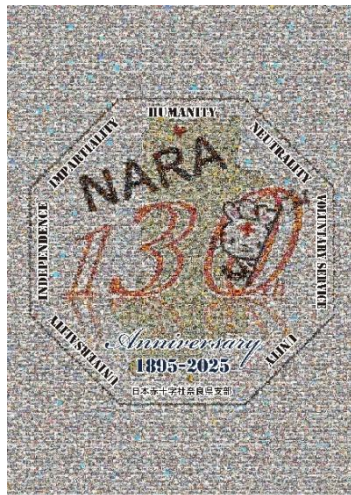
奈良テレビ	吉野テレビ	下市テレビ
約780回	約2,000回	5月の2週間10-15分間に1回、繰り返し放映

※ご協力ありがとうございました。

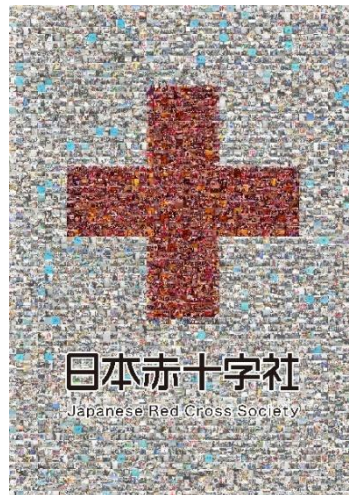
- ② 広報誌「日赤なら」(5月:18万部)を配布しました。また、新聞折り込み(ウーマンライフ新聞社:年3回)による広告掲載を行いました。
- ③ 会員等関係者へ赤十字NEWSや会員誌「クロスコムブック」を送付しました。
- ④ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。
- ⑤ SNS(Instagram等)やWEB広告バナーを活用して赤十字活動やイベントの広報活動を行いました。



- ⑥ 【130周年記念事業】過去から現在までの支部にまつわる写真を使用したモザイクアートを作成し、イベントや会議で展示することで、支部の歴史を知っていただく広報活動を行いました。また、赤十字関係者(奉仕団、青少年赤十字、有功会、寄付者、献血者など)にインタビューを実施し、赤十字を知ったきっかけや体験談などを支部ホームページに掲載し、赤十字への関心を深めていただくお便りリレーを実施しました。



▲モザイクアート



▲お便りリレー

- ⑦ 「赤十字を知ってもらう」をコンセプトに、県内で最も乗降客及び乗換利用客が多い近鉄大和西大寺駅でデジタルサイネージ広告を実施し、目に留まる広報活動を行いました。
- ⑧ 年間を通して、大型商業施設にて「赤十字フェスタ」を開催し、赤十字活動 PR を行ったほか、他団体が開催するイベントやフェスタにも参加しました。



▲赤十字フェスタ(郡山イオン)



▲赤十字フェスタ(登美ヶ丘イオン)



▲道の駅「クロスウェイなかもち」防災フェス

- ⑨ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑩ 報道機関へ、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。(随時)

(2) 地区区分への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」18万部作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区区分広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。
- ③ 地区区分主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報 PR を行いました。

(3) 第4ブロック(近畿)合同広報活動

- ① 啓発資材(ポケットティッシュ)32,500個を作成し、イベント等で配布しました。

## 9 活動資金の募集及び表彰制度 –活動資金にご協力を!!–

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願い、個人・法人などへのダイレクトメール(30,000通)での協力依頼、経済団体の協力を得て法人会費への依頼、遺贈・相続財産による寄付の周知など、活動資金の確保に努めました。

### (1) CSR(社会貢献)実績

#### ① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住所
(株)RISING SUN	橿原市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
中造園	葛城市
ふたかみパーク	葛城市
シンシアペットクリニック	三郷町



▲寄付金付自動販売機

#### ② 活動資金募金箱設置

活動資金募金箱設置先	設置場所	活動資金募金箱設置先	設置場所
インプレス	奈良市	奈良カントリークラブ	五條市
東大寺	奈良市	リバーサイドホテル	五條市
奈良中央信用金庫南奈良支店	奈良市	シプレカントリークラブ	五條市
奈良柳生カントリークラブ	奈良市	秋津原ゴルフクラブ	御所市
moothi	奈良市	奈良中央信用金庫二上支店	香芝市
医療法人厚生会奈良厚生会病院	大和郡山市	宇陀カントリークラブ	宇陀市
中華料理 橘	大和郡山市	県立万葉文化館	明日香村
奈良県立医科大学(財)弘済会	橿原市	大和信用金庫	県内各支店
大和興産(株)	県内4店舗		

#### ③ 支援マークの締結

締結先	設置場所
山本松産業(株)	天理市
(株)サンシーワールド	御所市

### (2) 遺贈・相続財産による寄付の取り組み

奈良県司法書士会、奈良県共同募金会と共同で相続・遺贈セミナーを開催しました。(9月20日:奈良県社会福祉総合センター)

また、遺贈・相続財産寄付に関する協定の締結先を相談窓口として支部のホームページに掲載するとともに、Web広告による広報など、認知度向上を図りました。



▲相続・遺贈セミナー

### (3) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

#### ① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項目	人数	贈与対象内容
支部長表彰状・感謝状	23人	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
銀色有功章	24人	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章	16人	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
本社感謝状	14人	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章:個人 左:男性 右:女性)



(金色有功章略章)



(金色有功章(法人)  
銀色有功章(個人・法人))

#### ② 国の表彰制度贈与・表彰実績

項目	人数	贈与対象内容
厚生労働大臣感謝状	1人	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
紺綬褒章	7人	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等



▲紺綬褒章



## 10 奈良県支部有功会(会員数:332人)昭和41年11月結成

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴し、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組みました。

また、5地域の有功会(奈良市都祁、大和郡山市、宇陀地区、橿原市、生駒市)においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

- (1) 全国赤十字大会に参会しました。(5月12・13日:東京都明治神宮会館)
- (2) 国内義援金及び海外救援金として120,000円(各10,000円)を送金しました。  

トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金、台風第8号に伴う災害義援金(沖縄県)、 8月6日からの大雨災害義援金(熊本県、鹿児島県)、台風第12号災害義援金(鹿児島県)、 台風第15号災害静岡県義援金、台風第22号及び第23号災害義援金(東京都)、 11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金、青森県東方沖地震義援金、ミャンマー地震救援金、 アフガニスタン地震救援金、パキスタン洪水救援金、NHK海外たすけあい金
---
- (3) 本社の国際活動資金に協力しました。(バングラデシュ保健医療支援事業)
- (4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい運動月間、年賀、はたちの献血キャンペーンに新聞広告を掲載しました。
- (5) 総会、会議等

月日	名称	場所	内容	
4	12	活動資金依頼のDM送付	-	有功会会員へ赤十字活動資金依頼のDM送付(341件)
5	9	橿原市総会	橿原市	令和6年度事業報告、収支決算 令和7年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
	15	生駒市総会	生駒市	令和6年度事業報告、収支決算 令和7年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
6	27	奈良市都祁総会	奈良市都祁	令和6年度事業報告、収支決算 令和7年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
7	11	第60回総会	奈良市	役員改選 令和6年度事業報告、決算報告 令和7年度事業計画(案)、予算(案)
10	2	有功会日帰り研修	夢洲	大阪・関西万博 パビリオン「国際赤十字・赤新月運動」「パソナ」視察
	3	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	佐賀県	令和6年度決算報告、令和7年度収支中間報告 各支部紺綬・有功会活動状況報告
	28	大和郡山市総会	大和郡山市	令和6年度事業報告、決算報告 令和7年度事業計画(案)、予算(案)、役員改選、ビデオ視聴
12	8	連絡協議会	奈良市	令和6年度決算報告 令和7年度地区有功会活動状況、会計収支状況
R8 3	26	有功会理事会	奈良市	役員の任期満了の辞任に伴う改選(案)、 令和8年度事業計画(案)、予算(案)、総会開催(案) 令和7年度事業報告、収支状況 令和7年度有功章会員等の増強について



▲全国赤十字大会参会



▲総会



▲日帰り研修～大阪・関西万博～

# 令和7年度 一般会計決算報告

## 1 令和7年度 一般会計決算

(収入)						(単位:円)
区分	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	前年度増減	付記	
1 会費収入	323,800,000	312,508,486	132,710,331	179,798,155	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金	
2 委託金等収入	0	0	6,480,420	△ 6,480,420		
3 補助金及び 交付金収入	11,567,000	9,311,795	6,665,733	2,646,062	本社からの交付金	
4 繰入金収入	19,300,000	14,728,912	19,000,000	△ 4,271,088	災害等資金繰入 国際救護活動資金繰入	
5 資産収入	100,000	483,740	1,841,170	△ 1,357,430	支部災害救援車売却	
6 雑収入	5,833,000	5,118,358	3,847,647	1,270,711	講師派遣収入、講習用教材費収入等	
7 前年度繰越金	25,000,000	42,772,917	41,806,072	966,845	前年度繰越金	
収入合計	385,600,000	384,924,208	212,351,373	172,572,835		

(支出)						(単位:円)
区分	令和7年度 予算現額	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	前年度増減	付記	
1 災害救護 事業費	53,250,000	33,747,097	36,453,918	△ 2,706,821	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等	
2 社会活動費	38,180,000	28,936,199	25,713,042	3,223,157	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費	
3 国際活動費	1,900,000	1,772,264	1,030,943	741,321	バングラデシュ保健医療支援事業	
4 指定事業 地方振興費	3,800,000	3,728,912	3,000,000	728,912	災害救護資機材整備費	
5 地区分区 交付金支出	14,110,000	9,025,746	9,250,207	△ 224,461	地区分区(市町村)における赤十字活動費	
6 社業振興費	38,990,000	34,922,969	35,268,015	△ 345,046	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費	
7 積立金支出	157,000,000	146,972,446	14,771,206	132,201,240	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金	
8 総務管理費	28,310,000	23,675,449	24,294,141	△ 618,692	支部の事業管理運営費	
9 資産取得及び 資産管理費	1,160,000	1,020,165	1,090,435	△ 70,270	施設管理費	
10 本社送納金支出	45,900,000	45,116,936	18,706,549	26,410,387	本社への送納金	
11 予備費	3,000,000	0	0	0	その他	
支出合計	385,600,000	328,918,183	169,578,456	159,339,727		

次年度繰越金 56,006,025円

## 2 令和7年度 会費収入

(単位:千円)

区分	R3	R4	R5	R6	R7
一般会費	143,606	135,653	129,608	111,169	289,016
うち地区・分区	75,439	73,711	70,786	68,855	65,224
うち有功会勸奨等	67,852	55,004	57,997	42,314	223,058
うち住民税控除対象の海外救援金※	315	6,938	825	0	734
法人会費	19,178	16,037	20,087	21,541	23,492
計	162,784	151,690	149,695	132,710	312,508

※個人住民税控除対象の海外救援金

R3 年度：ハイチ地震救援金

R4 年度：アフガニスタン地震救援金、パキスタン洪水救援金、トルコ・シリア地震救援金

R5 年度：アフガニスタン地震救援金、トルコ・シリア地震救援金、リビア洪水救援金

R7 年度：ミャンマー地震救援金、アフガニスタン地震救援金、パキスタン洪水救援金

### (1)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議案
令和7年6月9日	支部	(1)支部役員の改選に伴う選出 (2)令和6年度支部事業報告及び収支決算報告 (2)令和6年度血液事業報告
令和8年2月9日	支部	(1)令和7年度支部補正予算 (2)令和8年度支部事業計画及び収支予算 (3)令和8年度血液事業計画

### (2)監査報告

令和6年度事業・決算について、監査法人による外部監査を受けました。また、監査委員監査を実施し、監査委員の監査を受けました。



▲支部評議員会(6月)



▲支部評議員会(2月)

## 参 考 資 料

### 1 令和7年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分	令和7年度		令和6年度		前年度対比
	実績額(円)	前年比	実績額(円)	前年比	
奈良市	9,067,288	87.3%	10,389,444	89.2%	△ 1,322,156
大和高田市	3,253,159	100.0%	3,254,569	99.1%	△ 1,410
大和郡山市	5,171,982	93.4%	5,537,309	98.5%	△ 365,327
天理市	2,458,200	96.6%	2,545,175	97.4%	△ 86,975
橿原市	5,057,699	90.9%	5,565,466	96.5%	△ 507,767
桜井市	1,907,044	102.8%	1,854,470	95.0%	52,574
五條市	2,028,309	96.1%	2,111,300	87.4%	△ 82,991
御所市	1,970,121	116.3%	1,694,350	100.9%	275,771
生駒市	6,389,942	98.7%	6,471,312	103.3%	△ 81,370
香芝市	2,845,000	100.0%	2,845,000	100.0%	0
葛城市	2,692,280	99.6%	2,702,740	96.3%	△ 10,460
宇陀市	2,051,008	92.2%	2,223,600	92.9%	△ 172,592
一般社資 市地区計	44,892,032	95.1%	47,194,735	95.8%	△ 2,302,703
山辺郡	464,600	97.4%	477,000	99.0%	△ 12,400
生駒郡	3,672,433	87.6%	4,193,646	91.3%	△ 521,213
磯城郡	3,209,853	85.9%	3,735,710	99.1%	△ 525,857
宇陀郡	465,000	94.0%	494,600	91.9%	△ 29,600
高市郡	1,738,505	99.2%	1,752,072	99.7%	△ 13,567
北葛城郡	6,873,180	109.3%	6,286,430	96.6%	586,750
吉野郡	3,498,406	82.3%	4,250,181	98.7%	△ 751,775
吉野西	409,600	86.9%	471,083	94.7%	△ 61,483
郡地区計	20,331,577	93.9%	21,660,722	96.6%	△ 1,329,145
地区分区扱計	65,223,609	94.7%	68,855,457	96.0%	△ 3,631,848
支部扱計	223,057,752	527.2%	42,313,848	105.4%	180,743,904
※海外救援金計	734,382		0		734,382
<b>一般社資合計</b>	<b>289,015,743</b>	<b>260.0%</b>	<b>111,169,305</b>	<b>95.5%</b>	<b>177,846,438</b>
<b>法人社資合計</b>	<b>23,492,743</b>	<b>109.1%</b>	<b>21,541,026</b>	<b>125.2%</b>	<b>1,951,717</b>
<b>社資合計</b>	<b>312,508,486</b>	<b>235.5%</b>	<b>132,710,331</b>	<b>98.7%</b>	<b>179,798,155</b>

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

令和7年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・分区名	救援物資									弔慰金 (件数)	付添・臨時救護 (看護師)	
	世帯	人数	毛布	布団	パスタ	緊急セット	安眠セット	ブルシート	タオルケット		回数	人数
奈良市	8	22	21	19	24	9	-	5	3	3	9	11
大和高田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大和郡山市	2	7	1	7	7	3	-	2	6	-	-	-
天理市	1	4	8	4	-	1	-	-	-	-	8	8
橿原市	1	1	2	-	1	1	-	-	-	-	1	5
桜井市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
五條市	1	4	8	4	4	1	-	1	-	-	3	3
御所市	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
生駒市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香芝市	1	4	8	4	6	1	-	2	-	-	-	-
葛城市	2	3	2	4	2	1	-	-	-	1	-	-
宇陀市	1	3	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-
市地区計	18	49	51	43	45	18	-	11	11	6	21	27
山辺郡山添村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生駒郡	平群町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三郷町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	斑鳩町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	安堵町	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
磯城郡	川西町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三宅町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	田原本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
宇陀郡	曾爾村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	御杖村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高市郡	高取町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	明日香村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北葛城郡	上牧町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
	王寺町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広陵町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5
	河合町	1	4	8	3	4	1	-	1	-	-	-
	計	1	4	8	3	4	1	-	1	-	6	8
吉野郡	吉野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大淀町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	下市町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	黒滝村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	天川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下北山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	上北山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	川上村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東吉野村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
吉野西	野迫川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	十津川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5
県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	34
合計	20	54	64	46	49	19	-	12	11	6	48	77

令和7年度 市町村別講習一覽

	救急法				水上安全法				健康生活支援講習						幼児安全法					
	基礎		養成		短期		養成		短期		養成		短期		災害時高齢者支援		養成		短期	
	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生
奈良市	3	30	2	11	36	1,532			6	234			2	20	4	172	1	15	22	304
大和高田市					2	20							1	53	2	36				
大和郡山市					6	100			1	57					3	83			4	84
天理市					3	83													4	58
橿原市					7	141			3	145					1	38			1	4
桜井市					1	23									1	17				
五條市					1	17			1	20					2	97				
御所市					1	5									2	72				
生駒市					8	384			5	458									6	143
香芝市															1	30			4	104
葛城市									2	89					1	19			1	23
宇陀市									1	32										
市地区計	3	30	2	11	65	2,305	0	0	19	1,035	0	0	3	73	17	564	1	15	42	720
山辺郡山添村																				
生駒郡	平群町				9	232			1	42			1	26						
	三郷町				2	63									1	14			7	109
	斑鳩町																		2	18
	安堵町				1	25														
	計	0	0	0	0	12	320	0	0	1	42	0	0	1	26	1	14	0	0	9
磯城郡	川西町																			
	三宅町				2	45			1	41										
	田原本町				3	75			2	180										
	計	0	0	0	0	5	120	0	0	3	221	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇陀郡	曾爾村																			
	御杖村																			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町																			
	明日香村				1	8							2	58					1	7
	計	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	2	58	0	0	0	0	1
北葛城郡	上牧町				2	46														
	王寺町														1	17				
	広陵町																			
	河合町																			
	計	0	0	0	0	2	46	0	0	0	0	0	0	0	1	17	0	0	0	0
吉野郡	吉野町																			
	大淀町								3	101										
	下市町								1	21										
	黒滝村																			
	天川村																			
	下北山村				2	17														
	上北山村																			
	川上村																			
	東吉野村																			
計	0	0	0	0	2	17	0	0	4	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野西	野迫川村																			
	十津川村																			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡地区計	0	0	0	0	22	511	0	0	8	385	0	0	3	84	2	31	0	0	10	134
県主催	3	87			19	641			1	19	1	36	2	72	1	12			9	267
その他	3	129	1	40			3	129												
支部	8	94	4	60	5	130	1	8	0	0	2	14	1	14	2	10	2	16	2	111
合計	17	340	7	111	111	3,587	4	137	28	1,439	3	50	9	243	22	617	3	31	63	1,232